

臨床検査基準範囲の変更履歴

変更日	項目	新	旧	備考
2024/5/17	UGT1A1*28,*6遺伝子多型解析	*6、*28ともに多型を持たない ワイルドタイプ	設定なし	
2024/7/9	PT-INR	0.9～1.15	0.92～1.19	JCOG共用基準範囲より引用とする運用に変更のため
	PT-sec	9.9～11.8秒	9.6～12.3秒	PT試薬添付文書より引用とする運用に変更のため
	好中球数	1500～7500/ μ L		臨床検査法提要より引用とする運用に変更のため
	リンパ球数	1000～4000/ μ L		
	単球数	<800/ μ L		
	好酸球数	100～500/ μ L		
	好塩基球数	<50/ μ L		
2024/10/4	経食道超音波	削除		検査部として実施していないため
	腹部超音波	<胆管> 肝内胆管の径が4mm以上、肝外胆管(左右肝管を含む)径が8mm以上を拡張とする 胆嚢摘出後や胃切除後、高齢者では肝外胆管径が拡張することがある	<胆管> 左右肝管の径が4mm以上、総胆管径が8mm以上を拡張とする 胆嚢摘出後や胃切除後、高齢者では肝外胆管径が拡張することがある	
		<脾臓> 最大径で10cm≦を腫大とする	<脾臓> 体格や脾臓の形態、下記の計測法を参考にし、腫大を評価する 1) 千葉式: 脾門部から下極端までの距離(a)cm × 脾門部の厚み(b)cm ≧ 20cm ² 2) 古賀式: 後上縁と前下面の距離(c)cm × 脾門部を起点に直交する径(b)cmに恒数(正常0.8、肝炎0.9)を乗じた値 ≧ 30cm ²	
		<脾臓> サイズの目安は頭部30mm、体部20mm、尾部25mm以下	<脾臓> 1) サイズ(横断走査) 脾頭部: 3cm以下、脾体部: 2cm以下 全体のバランスに注意し、個人差を考慮する	
		<膵管> 膵管径は3mm未満 膵管は加齢とともに拡張する傾向があり、経時的な変化もある	<膵管> 膵管径は3mm未満 軽度の拡張は非特異的な場合もあるので注意する	
		<腎臓> 長径は8～12cm	<腎臓> 長径は約10～12cm、短径が5～6cm 通常は右腎に比べ左腎の方が少し大きい	
	甲状腺超音波	<健常成人: 甲状腺> 横径: 1～2cm、縦径: 4～5cm、厚み: 1～2cm <健常成人: 副甲状腺> 長径3mm程度	<健常成人: 甲状腺> 横径: 1～2cm、縦径: 4～5cm、厚み: 1～2cm <健常成人: 副甲状腺> 横径: 2～4mm、縦径: 4～6mm、厚み: 1mm	
2024.12.25	尿中グルコース(随時尿)	2～20mg/dL	設定なし	
	尿中グルコース(24時間尿)	30～130mg/day 0.03～0.13g/day	設定なし	
2025/1/27	D-BIL		0.08～0.28mg/dL	院内測定中止のため
	C-BIL	0.20mg/dL以下		新規採用のため追加
2025/4/1	LAP (ロイシンアミノペプチターゼ)		38～75 U/L	院内測定中止
	精液量	1.4mL 以上	2.0mL 以上	
	pH(精液検査)	設定なし	7.2 以上	
	精子濃度	1.6×10 ⁶ /mL 以上	20×10 ⁶ /mL 以上	
	精子運動率	42% 以上	50% 以上	
	精子奇形率	96% 未満	設定なし	